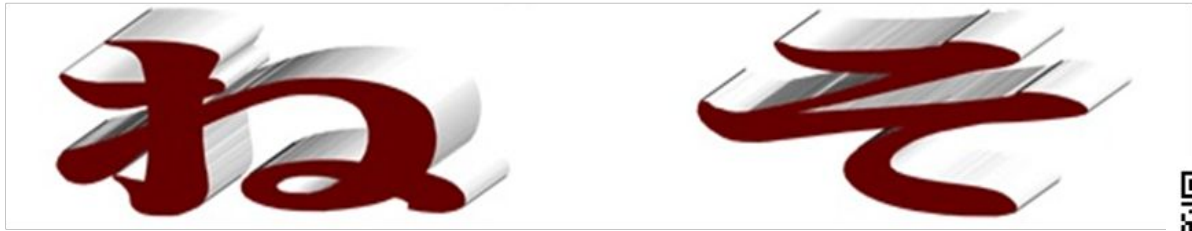


# 白川郷荻町集落の自然環境を守る会 令和8年10月号



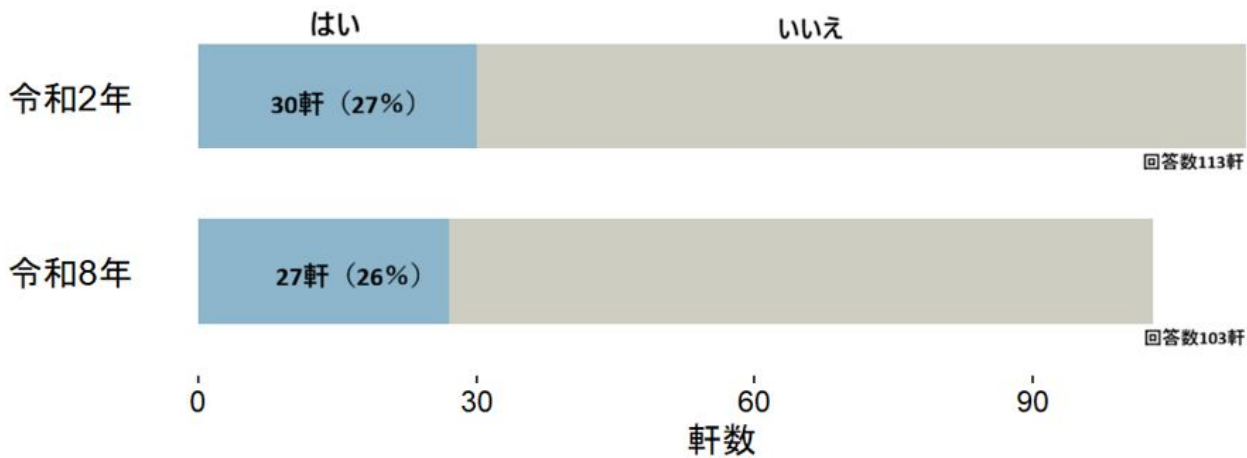
守る会ホームページ <http://shirakawa-go.com/~ogimachi/>



## 空き家対策アンケートの実施結果のご報告

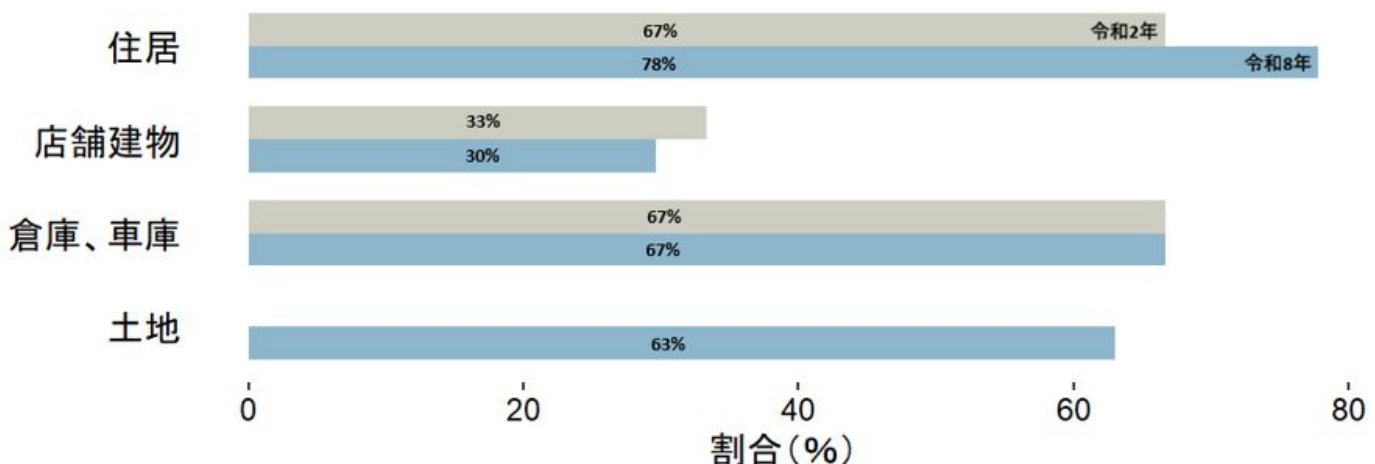
8月に荻町区民を対象に実施しました「空き家対策アンケート」につきまして、ご協力誠にありがとうございました。アンケートの結果についてご報告させていただきます。

### 問1： 建物や土地等の今後の管理に不安がある



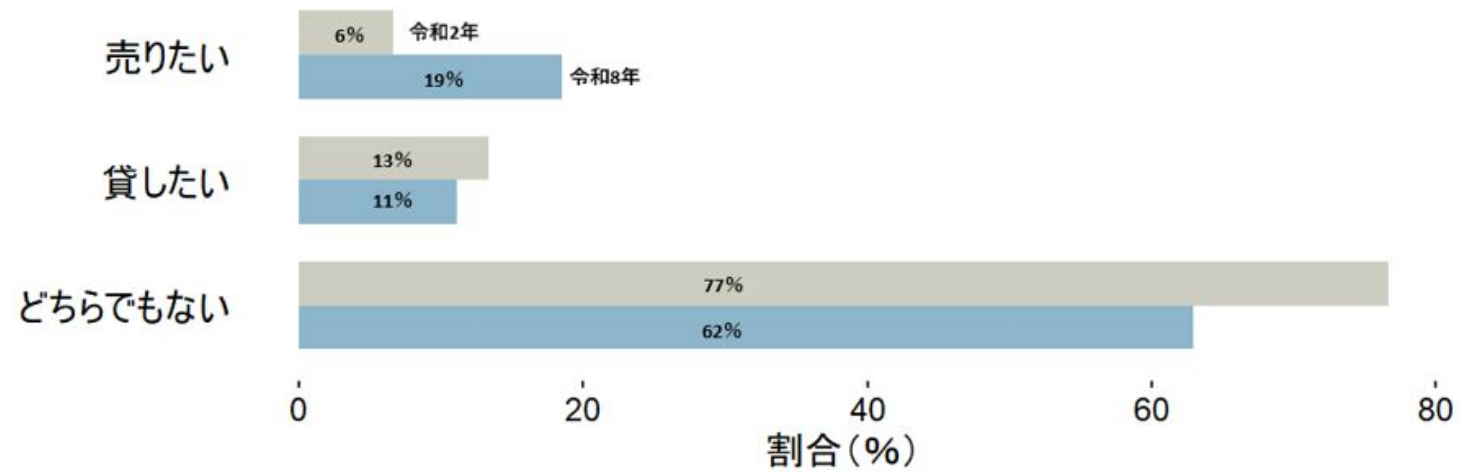
今回回答いただいた103軒中27軒（26％）が、建物の今後の管理に不安を感じています。この割合は、前回アンケートの30軒（27％）から大きな変動はありませんでした。前回「不安がある」と回答した30軒のうち、12軒（40％）は今回不安が解消しています。不安が解消された理由としては、世代交代が進んだことや、危険空き家が撤去されたことが推測されます。一方で、半数を超える16軒（53％）は継続して不安を抱えており、さらに今回は新たに11軒が不安を感じていることが分かりました。

### 問2： 不安があると答えた建物の種別



今回の調査から、住居や付属屋の今後の管理に不安を持たれている方が、依然として多い状況が分かりました。また、不安の中身を見てみると、付属屋や土地だけに対して不安を感じている方は少なく、多くの方が「住居とセット」で不安を感じているようです。なお、店舗建物の管理にだけ不安があると答えた方はいらっしゃいませんでした。

問3： 不安を感じる建物を可能であれば



不安を感じる建物や土地を「売ったり貸したりせず、このまま管理したい」と答えた方は約6割で、前回より15%減る結果となりました。その一方で、「できるなら売りたい」と考えている方が増えていることがわかりました。

問4：相続について家族・親族で話し合いましたか？

相続について家族・親族ですでに話し合った方の割合は44%と半数以下でした。

まとめ

アンケートの結果、荻町で建物や土地の今後の管理に不安を抱いている方は約3割と、前回調査からほぼ横ばいであることが分かりました。不安の対象については、付属屋や土地の「単体」ではなく、多くが「住居とセット」で不安を感じており、店舗単体での不安回答はゼロでした。また、今後の意向としては、不安のある建物を「売りたい」と考える方が増えている傾向も明らかになりました。

守る会では、不安を抱えられていると回答された方にこれから個別にお話を伺い、当アンケートと個別聞き取り調査の結果をもって、荻町構想計画会議において「空き家問題」の解決策を検討してまいります。[文責 清水]

活動報告

- 7月： 9日 定例会、ねそ7月号発行 11日 落書きペンキ塗り(会長、三島部長)、16日 守る会茅場下草刈り(副会長、堅田部長、野村、石坂)
- 8月： 10日 定例会、空き家対策アンケート配布(清水)
- 9月： 3日 旧寺口家管理運営員会 8日 定例会 7/18、8/14、9/10 旧寺口家草刈り(福田)

定例会協議事項(現状変更申請に関わって)

- 7月： エアコン設置、屋根の葺替、柿木(熊誘引木)の伐採
- 8月： トタンのペンキ塗りかえ、柿木(熊誘因木)の伐採、住宅周りのコンクリート打設、倉庫雨樋取替え、土間コンクリート
- 9月： サッシ取替、既存オーバースライダー板の塗装、窓の新設・寸法変更

今年も技術伝承ワークショップ(ツノ結び、箱巻きなど)を結の屋根葺きに向けて開催予定です。詳細は追って連絡いたします。